

変えよう！奨学金

給付型奨学金制度の創設等を求めるアピールへの 賛同（団体・個人）のお願い

いまや大学生の2人に1人が奨学金を利用し、社会人としての出発点から多額の借金を背負っています。奨学金に頼らなければ大学等に進学できず、不安定な雇用で「返したくても返せない」など、大きな社会問題になっています。

給付型奨学金制度の創設・拡充等を求める署名が300万筆を超えるなど、世論の高まりを受け、本年の参議院選挙では与野党のほとんど給付型奨学金の創設を公約に掲げました。政府の一億総活躍プランや経済対策等においても、給付型奨学金の創設に向けて「検討を進める」ことが盛り込まれましたが、まだ確定したわけではなく、対象者（規模）や財源もこれからです。制度導入を確実なものとし、よりよい内容で実現するには、多くの国民が声をあげ、さらなる世論の後押しが必要です。

このため、私たちは、今秋から来年の通常国会にかけて、別紙1のアピール（要請事項）について賛同（団体／個人）を呼びかけ、政府や国会関係者への働きかけを行ってまいります。つきましては、未来を担う若者を社会全体で支えるため、多くの方々にアピールへのご賛同をいただきますようお願いいたします。

★ 呼びかけ人

添付の「呼びかけ人一覧」を参照

★ 賛同の申込方法

- 別紙1のアピール文に賛同（団体として、もしくは個人の立場で）いただける場合は、別紙2の賛同書に必要事項を記入のうえ、下記連絡先までメールまたはFAXにてご送信ください。

★ 賛同の活用方法

- アピール文（別紙1）に賛同者の一覧を添付し、関係省庁、国会議員、政党等への要請時や、集会、院内集会、記者会見等で配布します。
- ホームページやニュースなどで紹介させていただきます。

★ 集約期限

第1次集約 2016年11月11日（金） 最終集約 2017年1月27日（金）

★ お問い合わせ／賛同書の送付先

労働者福祉中央協議会（中央労福協） 担当：北村、佐野
〒110-0052 東京都千代田区神田小川町3-8 中北ビル5階
TEL 03-3259-1287 TEL 03-3259-1286 E-mail sando@rofuku.net

取 扱 団 体

全国青年司法書士
協議会



給付型奨学金制度の創設等を求めるアピール

大学の学費の高騰と家計収入の減少により、奨学金に頼らなければ大学に進学できない学生が半数を超えるようになりました。卒業しても、不安定な雇用で十分な収入が得られず、奨学金を「返したくても返せない」人たちも増加しています。

社会人としてのスタートラインから数百万の借金を背負うのは、大変な重荷です。借金苦を避けるため、学びたくても進学を諦めざるを得ない子どもも後を絶ちません。長期におよぶ返済の負担は、若者に結婚や子どもを持つことをもたためらせる要因ともなっています。若者ばかりではなく、子どもの奨学金返済の肩代わりで老後の生活資金を失う親も増えており、世代を越えた社会問題になっています。

貧困の連鎖を絶ち、教育の機会均等を実現するとともに、少子化・人口減に歯止めをかけて持続可能な社会にするためにも、奨学金問題の早急な改善が必要です。

諸外国と比べてみても、日本は高等教育に対する公的支出が OECD 諸国の中で最低の水準にあり、大学の授業料が有償で国による給付型の奨学金制度がないのは日本だけです。家計による教育費の負担は限界に達しており、将来を担う若者の学びと成長を社会で支えていく仕組みをつくっていくことが求められています。

本年の参議院選挙では与野党の多くが給付型奨学金の創設を公約に掲げ、政府の一億総活躍プランにおいても給付型奨学金の創設に向けて「検討を進める」ことが盛り込まれました。ぜひとも、この機をのがさず、貸与から給付へ、有利子から無利子への流れをつくり、当事者の声を反映したよりよい制度に改善するとともに、学費を含めた教育費負担の軽減を実現していただきますよう、以下を要望します。

1. 速やかに大学生等を対象とした給付型奨学金制度を創設し、将来に向けて拡充してください。
2. 貸与型奨学金にあっては、有利子から無利子への流れを加速し、無利子奨学金を大幅に拡充してください。速やかに、無利子奨学金を受ける資格がありながら予算不足のために受けられない学生を解消してください。
3. 大学等の学費の引下げや授業料減免の拡充等の政策を実行してください。
4. 奨学金の制度設計や意思決定・運営に当事者、利用者などの参画をはかるとともに、情報公開を徹底してください。

送信先

Eメール sando@rofuku.net
FAX 03-3259-1286

取扱団体
全国青年司法書士 協議会

賛同書

「給付型奨学金の創設等を求めるアピール」に

(団体もしくは個人のいずれか、あるいは団体と個人の両方で
賛同していただいても結構です。該当欄に☑してください。)

団体として賛同します

・団体名 : _____
(団体名のみ記入してください)

個人の立場で賛同します

・お名前 : _____
・フリガナ : _____
・肩書き : _____

*肩書きは所属団体(役職)/職業など記載いただいた内容で表示します。

ひとつ、メッセージがあればお寄せください。

(お寄せいただいたメッセージは、ホームページ等で公表することもあります。

公表が不可な場合は、その旨明記してください)

<メッセージ>

[連絡先]

住所 〒 _____

電話番号 _____ E-mail _____

(団体の場合) 連絡担当者名 _____

★個人情報などの活用方法、取り扱いについて

記載いただきました賛同団体名、個人名(肩書き)は、アピール文に賛同者一覧を添付し、
要請先に提出するほか、マスコミ、各団体のウェブサイト・機関紙誌などで広く公表します。

ただし、連絡先に関する個人情報は、本件に関する連絡業務や、当会の集会等のご案内・
活動情報の送付・送信に限り利用させていただき、他の目的で使用することはありません。